

貸借対照表

(2026 年 3 月 31 日)

エイベックス・ビークチャーズ株式会社

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
[資産の部]		[負債の部]	
流動資産	10,243	流動負債	9,087
現金及び預金	10	買掛金	204
売掛金	5,304	関係会社短期借入金	2,056
営業有価証券	0	未払金	3,822
製商品	208	未払印税	2,273
仕掛品	77	未払法人税等	198
その他棚卸資産	1,232	未払事業所税	2
前渡金	1,852	未払費用	18
前払費用	42	前受金	92
前払印税	5	前受印税	40
未収入金	1,376	預り金	55
立替金	166	賞与引当金	87
貸倒引当金	△ 32	役員賞与引当金	4
固定資産	1,527	返金負債	230
有形固定資産	0	固定負債	19
工具器具備品	0	預り保証金	19
無形固定資産	88	負債合計	9,107
ソフトウェア	88	[純資産の部]	
投資その他の資産	1,438	株主資本	2,663
投資有価証券	0	資本金	100
関係会社株式	375	資本剰余金	1,100
破産更生債権等	0	利益剰余金	1,463
長期繰延税金資産	1,058	利益準備金	25
その他	4	その他利益剰余金	1,438
長期貸倒引当金	△0	繰越利益剰余金	1,438
		純資産合計	2,663
資産合計	11,771	負債及び純資産合計	11,771

(注) 当期純利益 515百万円

注 記 事 項

I 重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法（営業投資有価証券も含む）

子会社株式及び関連会社株式…………… 移動平均法による原価法
そ の 他 有 価 証 券
時 価 の な い も の…………… 移動平均法による原価法
投資事業有限責任組合への出資…………… 最近の決算書等に基づく当社持分相当額により評価しております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商 品 、 製 品 、 貯 蔵 品…………… 移動平均法による原価法
（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）
仕 掛 品 、 映 画 版 権…………… 個別法による原価法
（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法、ただし1998年4月1日以降取得した建物（建物附属設備は除く）については定額法によっております
なお、耐用年数は以下のとおりであります。
工 具 器 具 備 品…………… 4～5年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。
なお、耐用年数は以下のとおりであります。
ソ フ ト ウ ェ ア…………… 2年（社内における利用可能期間）

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額を計上しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、決算期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は営業外損益として処理しております。

(2) 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、グループ通算制度を適用しており、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

(3) その他

- ① 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。
- ② 記載金額が「0」は百万円未満であることを示しております。
- ③ 記載金額が「－」は該当金額がないことを示しております。